優秀賞

タイトル	飛燕の舎

タイプ	持家一戸建
構 造	在来木造

講 評
リフォーム前後の外観写真で目を引く一番の違いは、潜めていた身を乗り出したかのように嵩上げされた分で2階に大きな窓がついたこと。平面図では分からない立体的なリフォームにショックを受けた。手慣れた設計である。

リフォーム前後の写真

①

②

③
嵩上げ中

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

リフォームの動機／設計･施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

リフォームの動機・施主の要望	小屋梁を現しにし空間に変化をもたらす
来たる南海地震に備えての耐震補強（補助金活用）	**価値の向上**
快適な生活のために設備を更新	リフォームによって新築に勝る住空間を生み出した
燕の巣の保護・思い出のある納屋の架構（松梁）を生かす	**施主の感想**
設計側の提案	施主は老父母への孝行が出来たことを喜んでいる
居住空間の確保のため嵩上げを施す（+1.1m）	老父母は想像も出来なかった出来映えに驚き、先祖に良い
トップライトにより自然光を取り入れる	報告が出来ると喜んでいる
通風・換気・断熱計画により居住性と省エネルギー性に配慮	近隣の人たちが出来映えに良い意味でショックを受けている

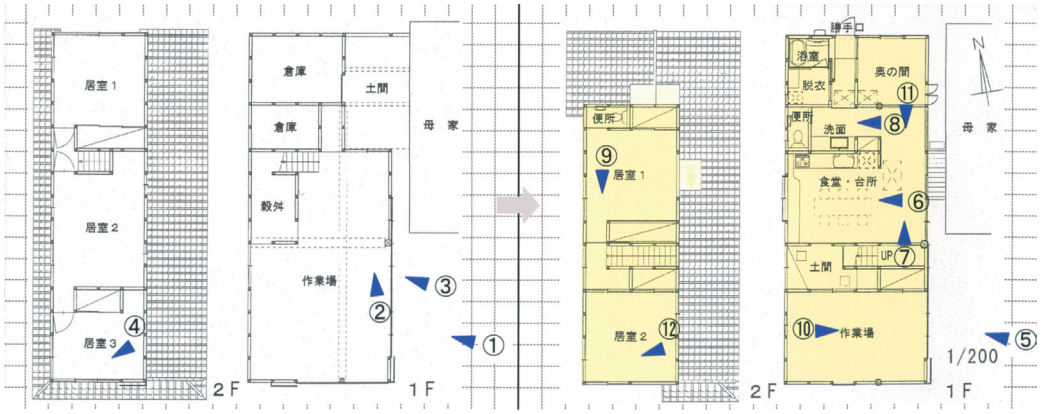
性能向上の特性
耐震性能、耐久性能、バリアフリー性能、温熱性能、室内環境

特に配慮した事項
・耐震性能アップ：上部構造評点（保有耐力／必要耐力）0.13→2.94
・温熱性能アップ：木製建具→アルミサッシ+ペアガラス

データ

所在地	高知県南国市	築後年数	65年	施工期間	200 日間
該当工事面積	132.53 ㎡／総工事床面積 132.53 ㎡	該当部分工事費	2,400 万円／総工事費 2,400 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満： 1 人／65歳以上： 2 人／15歳未満： 人／ペット： 1 猫				
設計会社	聖建築研究所／アトリエ都市・建築設計室 K. K	担当者	山本 恭弘／清藤 和孝		
施工会社	（有）北村工務店	担当者	北村 順一		

リフォーム前 | リフォーム後



リフォーム部位：居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分